

外国語科(英語)

英語の言語活動：「聞くこと」、「話すこと」はどう変わったか。

ア 聞くこと

- (ア) 強勢，イントネーション，区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく聞き取ること。
- (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて，情報を正確に聞き取ること。
- (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。
- (エ) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。
- (オ) まとまりのある英語を聞いて，概要や要点を適切に聞き取ること。

★ ポイント

- (イ)情報を正確に聞き取るとは，音変化やスピードに対応して事実や出来事など必要な情報を聞き取ることである。
- (エ)聞き返しなどは，コミュニケーションを継続しようとする積極的な態度を育成する上でも重要である。
- (オ)単文での理解ではなく，複数の文を聞いて概要や要点を聞き取る必要がある。
- 「まとまりのある英語」とは，スピーチ，機内アナウンス，天気予報など一つのテーマに沿って話されたことや内容に一貫性のあるものなどである。

イ 話すこと

- (ア) 強勢，イントネーション，区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ，正しく発音すること。
- (イ) 自分の考えや気持ち，事実などを聞き手に正しく伝えること。
- (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて，問答したり意見を述べ合ったりなどすること。
- (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。
- (オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。

★ ポイント

- (ア)「とらえ」は，小学校での一定の素地があることを踏まえ現行の「慣れ」から一歩進めている。
- (イ)の事実とは，客観的な内容のことである。
- (ウ)については，技能の統合を示している。「問答したり」は理解を確実にしたり，考えを深めるための活動である。
- (オ)については，これまでの調査を通じて「自分の考えや気持ちを相手に伝えるように話す力」が課題と考えられることから新たに加えられた。適切なテーマ(体験したこと・自分の夢など)を与えることが大切である。